

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-本-003-22
提出年月日	2022年9月8日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料  
原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備  
(高圧炉心スプレィ補機冷却系 (高圧炉心スプレィ  
補機海水系を含む。))

(本文)

2022年9月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

8.2 高圧炉心スプレィ補機冷却系（高圧炉心スプレィ補機海水系を含む。）

(2) 熱交換器

常設

- ・高圧炉心スプレィ補機冷却系熱交換器

(3) ポンプ

常設

- ・高圧炉心スプレィ補機冷却水ポンプ
- ・高圧炉心スプレィ補機海水ポンプ

(5) 容器

常設

- ・高圧炉心スプレィ補機冷却系サージタンク

(6) ろ過装置

常設

- ・高圧炉心スプレィ補機海水ストレーナ

(9) 主配管

常設

8.2 高圧炉心スプレイ補機冷却系（高圧炉心スプレイ補機海水系を含む。）

(2) 熱交換器の名称，種類，容量，最高使用圧力（管側及び胴側の別に記載すること。），最高使用温度（管側及び胴側の別に記載すること。），伝熱面積，主要寸法，材料，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

常設

			変更前	変更後		
名 称		高圧炉心スプレイ補機冷却系熱交換器*1		変更なし		
種 類		— 横置直管式				
容 量（設計熱交換量）		MW/個	□以上*2 (□*3, *4)			
管 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.98*3			
	最 高 使 用 温 度	℃	40			
胴 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.98*3			
	最 高 使 用 温 度	℃	66			
伝 熱 面 積		m <sup>2</sup> /個	□以上*2 (□*4)			
主 要 寸 法	管	胴 内 径 *5	mm		900*4	
		胴 板 厚 さ *6	mm		□*7 (12.0*4)	
		鏡 板 厚 さ *8	mm		□*7 (12.0*4)	
		平 板 厚 さ *9	mm		□*7 (70.0*4)	
	側	鏡板の形状に係る寸法*7			mm	900*4（鏡板の中央部における内面の半径） 90*4（すみの丸みの内半径）
		管台外径（管側入口）*7			mm	267.4*4
		管台厚さ（管側入口）*7			mm	□(9.3*4)
		管台外径（管側出口）*7			mm	267.4*4
		管台厚さ（管側出口）*7			mm	□(9.3*4)
		フ ラ ン ジ 厚 さ *7			mm	50.0*4
	胴 側	胴 内 径 *10	mm		900*4	
		胴 板 厚 さ *11	mm		□*7 (12.0*4)	
		管台外径（胴側入口）*7		mm	318.5*4	
		管台厚さ（胴側入口）*7		mm	□(10.3*4)	
管台外径（胴側出口）*7		mm	318.5*4			
管台厚さ（胴側出口）*7		mm	□(10.3*4)			
管 板 厚 さ		mm	□*7 (70.0*4)			
伝 熱 管 外 径		mm	□*4			
伝 熱 管 厚 さ		mm	□*7 (□*4)			
全 長		mm	5907*4			

(つづき)

				変更前	変更後
材 料	管 側	胴板 <sup>*12</sup>	—	SM41B <sup>*13</sup>	変更なし
		鏡板 <sup>*14</sup>	—	SM41B <sup>*13</sup>	
		平板 <sup>*15</sup>	—	SGV49 <sup>*16</sup>	
		フランジ <sup>*7</sup>	—	SFVC2B	
	胴側	胴板 <sup>*17</sup>	—	SM41B	
	管	板	—	SGV49 <sup>*18</sup>	
	伝熱管		—	C6870T	
個	数	—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	高圧炉心スプレイ補機冷却系 熱交換器 <sup>*2</sup> (高圧炉心スプレイ補機 冷却系)		
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 1300mm <sup>*2</sup>		
	溢水防護上の区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には、附帯設備に記載

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3 : S I 単位に換算したものである。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室胴板厚さ」と記載

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 12 月 25 日付け 60 資庁第 11431 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-6-2-1「高圧炉心スプレイ補機冷却系熱交換器の強度計算書」による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室平板厚さ」と記載

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体胴板厚さ」と記載

\*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室胴板」と記載

\*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41B (内面ゴムライニング)」と記載

\*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板」と記載

\*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室平板」と記載

\*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49 (内面ゴムライニング)」と記載

\*17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体胴板」と記載

\*18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49 (管側銅合金クラッド)」と記載

(3) ポンプの名称, 種類, 容量, 揚程又は吐出圧力, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所並びに原動機の種類, 出力, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

常設

			変更前	変更後	
名 称			高压炉心スプレイ補機冷却水ポンプ*1	変更なし	
ポ ン プ	種 類	—	ターボ形		
	容 量*2	m <sup>3</sup> /h/個	□以上*3(240*4)		
	揚 程*5	m	□以上*3(30*4)		
	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.98*6, *7		
	最 高 使 用 温 度	℃	66*6		
	主 要 寸 法	吸 込 内 径*3	mm		200.0*4
		吐 出 内 径*3	mm		200.0*4
		ケーシング厚さ*3	mm		□(25.0*4)
		た て*3	mm		660*4
		横 *3	mm		970*4
高 さ*8		mm	920*4		
材 料	ケーシング	—	□		
	ケーシングカバー*3	—	□		
個 数	—	1			
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	高压炉心スプレイ補機冷却水ポンプ*3 (高压炉心スプレイ補機冷却系)		
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 1300mm*3		
	溢水防護上の区画番号	—			R-B2F-12N
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—		EL 2952mm 以上

(つづき)

			変 更 前	変 更 後
原 動 機	種 類	—	誘導電動機	変更なし
	出 力	kW/個	37*4	
	個 数	—	1	
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ*3	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には、附帯設備に記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4：公称値を示す。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載

\*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「高圧炉心スプレイ補機冷却水ポンプから高圧炉心スプレイ補機冷却系熱交換器まで、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備機関付空気冷却器から高圧炉心スプレイ補機冷却水ポンプまで」による。

\*7：S I 単位に換算したものである。

\*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 12 月 25 日付け 60 資庁第 11431 号にて認可された工事計画の添付書類「第 11-4-3 図 高圧炉心スプレイ補機冷却水ポンプ構造図」による。

S2 補 II R0

			変 更 前	変 更 後		
名 称		高圧炉心スプレイ補機海水ポンプ*1				
ポ ン プ	種 類	—	ターボ形	変更なし		
	容 量*2	m <sup>3</sup> /h/個	□以上*3(336*4)			
	揚 程*5	m	□以上*3(35*4)			
	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.98*6, *7			
	最 高 使 用 温 度	℃	40*6			
	主 要 寸 法	吸 込 内 径*3	mm		216.5*4	
		吐 出 内 径*3	mm		237.2*4	
		コ ラ ム 外 径*3	mm		318.5*4	
		コ ラ ム 厚 さ*3	mm		□(14.0*4)	□(14.3*4)
		高 さ	mm		6852*4, *8	11652*4
材 料	ケ ー シ ン グ	—	□	変更なし		
個 数	—	1				
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	高圧炉心スプレイ補機海水ポンプ*3 (高圧炉心スプレイ補機海水系)			
	設 置 床	—	取水槽 EL 1100mm*3			
所	溢水防護上の区画番号	—			Y-24CN	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	EL 2296mm 以上		

3-1-242

(つづき)

			変更前	変更後
原 動 機	種	類	—	誘導電動機
	出	力	kW/個	75*4
	個	数	—	1
	取	付	箇所	—
変更なし				

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には、附帯設備に記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4：公称値を示す。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載

\*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「高圧炉心スプレイ補機海水ポンプから高圧炉心スプレイ補機海水ストレーナまで」による。

\*7：S I 単位に換算したものである。

\*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 12 月 25 日付け 60 資庁第 11431 号にて認可された工事計画の添付書類「第 11-4-4 図 高圧炉心スプレイ補機海水ポンプ構造図」による。



- (5) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

常設

			変更前	変更後										
名	称		高压炉心スプレイ補機冷却系サージタンク	変更なし										
種	類	—	たて置円筒形											
容	量	m <sup>3</sup> /個	□以上 (2.5* <sup>1</sup> )											
最	高	使	用											
圧	力	MPa	静水頭											
最	高	使	用											
温	度	℃	66											
主	胴	内	径		mm	1500* <sup>1</sup>								
	胴	板	厚		さ	mm	□* <sup>2</sup> (9.0* <sup>1</sup> )							
要	鏡	板	厚		さ	mm	□* <sup>2</sup> (9.0* <sup>1</sup> )							
	鏡板の形状に係る寸法* <sup>2</sup>		mm		1500* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径) 150* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)									
寸	平	板	厚		さ* <sup>3</sup>	mm	9.0* <sup>1</sup>							
	管	台	外		径 (流体出口)* <sup>3</sup>	mm	114.3* <sup>1</sup>							
法	管	台	厚		さ (流体出口)* <sup>2</sup>	mm	□ (6.0* <sup>1</sup> )							
	管	台	外		径 (オーバフロー)* <sup>3</sup>	mm	89.1* <sup>1</sup>							
	管	台	厚		さ (オーバフロー)* <sup>2</sup>	mm	□ (5.5* <sup>1</sup> )							
材	高	さ* <sup>4</sup>		mm	1810* <sup>1</sup> , * <sup>3</sup>									
	胴	板	—	SM41A (内面樹脂コーティング)										
鏡	板	—	SM41A (内面樹脂コーティング)											
個	数	—	1											
取	系	統	名	—	高压炉心スプレイ補機冷却系サージタンク * <sup>3</sup> (高压炉心スプレイ補機冷却系)									
	(	ラ	イ	ン		名)								
付	設	置	床	—	原子炉建物 EL 8800mm* <sup>3</sup>									
箇	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—			
	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ

注記\*1：公称値を示す。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和60年9月9日付け60資庁第11431号にて認可された工事計画の添付書類IV-3-6-2-2「高压炉心スプレイ補機冷却系サージタンクの強度計算書」による。

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 3100」と記載

(6) ろ過装置の名称，種類，容量，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

常設

		変更前		変更後
名 称		高压炉心スプレイ補機海水ストレーナ*1		変更なし
種 類	—	バスケット形ダブルストレーナ		
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	□以上(336*2)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.98*3		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	胴 板 厚 さ	mm	□*2	
	カ バ ー 厚 さ*4	mm	□*2	
	管台口径(海水入口)*5	mm	250*2	
	管台厚さ(海水入口)*4	mm	□*2	
	管台口径(海水出口)*5	mm	250*2	
	管台厚さ(海水出口)*4	mm	□*2	
	胴 フ ラ ン ジ 厚 さ*4	mm	□*2	
	全 長	mm	1350*2	
材 料	胴	—	□ (□)	
	ボ ン ネ ッ ト	—	□ (□)	
	カ バ ー	—	□ (□)	
個 数	—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	高压炉心スプレイ補機海水ストレーナ*4 (高压炉心スプレイ補機海水系)	
	設 置 床	—	取水槽 EL 1100mm*4	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には，附帯設備に記載

\*2：公称値を示す。

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 60 年 12 月 25 日付け 60 資庁第 11431 号にて認可された工事計画の添付書類「第 11-4-6 図 高压炉心スプレイ補機海水ストレーナ構造図」による。

(9) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料 (常設及び可搬型の別に記載し, 可搬型の場合は, 個数及び取付箇所を付記すること。)

常設

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	
高圧炉心スプレ イ補機冷却系	高圧炉心スプレ イ補機冷却水ポン プ ～ 高圧炉心スプレ イ補機冷却系熱交 換器*2	0.98*3	66	216.3	8.2	STPT42	高圧炉心スプレ イ補機冷却系	変 更 な し	変 更 な し			
				216.3*4, *5 / 8.2*4, *5					STPT42*4, *5			
	—			—					318.5*5 / 216.3*5 / 10.3*5 / 8.2*5			STPT42*5
	—			—					318.5*5 / 216.3*5 / 10.3*5 / 8.2*5			STPT42*5
	—			—					変 更 な し			
	—			216.3	8.2	STPT42			216.3*4, *5 / 8.2*4, *5			STPT42*4, *5
	—			—					216.3*5 / 216.3*5 / 8.2*5			STPT42*5
	—			—					— / — / —			—
	—			—					216.3*5 / 165.2*5 / 8.2*5 / 7.1*5			STPT42*5
	—			—					変 更 な し			
	—			—					165.2*5 / 7.1*5			STPT42*5
	—			—					165.2*5 / 7.1*5			STPT42*5

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
高圧炉心スプレ イ補機冷却系	高圧炉心スプレイ系 ディーゼル発電設備 潤滑油冷却器入口ラ イン分岐部 ～ 高圧炉心スプレイ系 ディーゼル発電設備 機関付空気冷却器 *2, *6	0.98*3	66	—		高圧炉心スプレ イ補機冷却系	変更なし		165.2*5	7.1*5	STPT42*5
				/139.8*5	/6.6*5						
	変更なし		139.8	6.6	STPT42				139.8*5	6.6*5	STPT42*5
		—			/139.8*5	/6.6*5					
	高圧炉心スプレイ系 ディーゼル発電設備 潤滑油冷却器入口ラ イン分岐部 ～ 高圧炉心スプレイ系 ディーゼル発電設備 潤滑油冷却器*2, *7	0.98*3	66	165.2	7.1	STPT42	変更なし				

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
高圧炉心スプレ イ補機冷却系	高圧炉心スプレ イ系 ディーゼル発電設備 潤滑油冷却器 ～ 高圧炉心スプレ イ系 ディーゼル発電設備 1次水冷却器*2	0.98*3	66	165.2	7.1	STPT42	変更なし		変更なし		
				—					165.2*4, *5	7.1*4, *5	STPT42*4, *5
	高圧炉心スプレ イ系 ディーゼル発電設備 機関付空気冷却器 ～ 高圧炉心スプレ イ系 ディーゼル発電設備 1次水冷却器出口ラ イン合流部*2, *8	0.98*3	66	139.8	6.6	STPT42	変更なし		変更なし		
				—		139.8*5 /139.8*5			6.6*5 /6.6*5	STPT42*5	
				165.2*5 /139.8*5	7.1*5 /6.6*5	STPT42*5					

変更前						変更後											
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料						
高圧炉心スプレイ補機冷却系	高圧炉心スプレイ系 ディーゼル発電設備 1次水冷却器出口ライン合流部 ～ 高圧炉心スプレイ補機冷却系サージタンク出口ライン合流部 *2, *8	0.98*3	66	—		高圧炉心スプレイ補機冷却系	変更なし	変更なし	165.2*5	7.1*5	STPT42*5						
				/165.2*5	/7.1*5												
				/165.2*5	/7.1*5												
				変更なし													
				165.2*4, *5	7.1*4, *5				STPT42*4, *5								
				216.3*5	8.2*5				STPT42*5								
/165.2*5	/7.1*5																
216.3*4, *5	8.2*4, *5	STPT42*4, *5															
216.3*5	8.2*5	STPT42*5															
/216.3*5	/8.2*5																
/—	/—																
変更なし																	
			216.3	8.2	STPT42												

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
高圧炉心スプレ イ補機冷却系	高圧炉心スプレ イ補機冷却系サ ーシタンク出 口ライン合流部 ～ 高圧炉心スプレ イ補機冷却水 ポンプ*2, *8	0.98*3	66	—		高 圧 炉 心 ス プ レ イ 補 機 冷 却 系	変 更 な し	変 更 な し	216.3*5	8.2*5	STPT42*5
				/216.3*5	/8.2*5						
				/216.3*5	/8.2*5						
				216.3	8.2	STPT42	変 更 な し				
				—				216.3*4, *5	8.2*4, *5	STPT42*4, *5	
高圧炉心スプレ イ補機冷却系	高圧炉心スプレ イ系ディーゼル 発電設備1次水 冷却器～ 高圧炉心スプレ イ系ディーゼル 発電設備1次水 冷却器出口ラ イン合流部*2, *9	0.98*3	66	165.2	7.1	STPT42	変 更 な し				

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
高圧炉心スプレ イ補機冷却系	高圧炉心スプレ イ補機冷却系サー ジタンク ～ 高圧炉心スプレ イ補機冷却系サー ジタンク出口ライン 合流部*10	0.98*3	66	114.3	6.0	STPT42	高圧炉心スプレ イ補機冷却系	変更なし	変更なし		
				—					114.3*5 /114.3*5 /—	6.0*5 /6.0*5 /—	STPT42*5
	—			216.3*5 /114.3*5	8.2*5 /6.0*5	STPT42*5					
	—			変更なし							
高圧炉心スプレ イ補機冷却系	高圧炉心スプレ イ補機海水ポンプ ～ 高圧炉心スプレ イ補機海水ストレ ーナ*2	0.98*3	40	267.4	9.3	STPT42	高圧炉心スプレ イ補機冷却系	変更なし	変更なし		
				—					267.4*4, *5	9.3*4, *5	STPT42*4, *5
	—			変更なし							
	—			変更なし							
高圧炉心スプレ イ補機冷却系	高圧炉心スプレ イ補機海水ストレ ーナ ～ 高圧炉心スプレ イ補機冷却系熱交 換器*2	0.98*3	40	267.4	9.3	STPT42	高圧炉心スプレ イ補機冷却系	変更なし	変更なし		
				—					267.4*4, *5	9.3*4, *5	STPT42*4, *5



変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
高圧炉心スプレ イ補機冷却系	0.98*3	40	高圧炉心スプレ イ補機冷却系熱交換器 ～ 高圧炉心スプレ イ補機冷却系熱交換器出 口ライン合流部*2, *11	267.4	9.3	STPG38	高圧炉心スプレ イ補機冷却系	変更なし	変更なし		
			—			267.4*4, *5			9.3*4, *5	STPG38*4, *5	
			267.4*10	9.3*10	STPG370*10	変更なし					

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記\*1：公称値を示す。

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には、附帯設備に記載

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：エルボを示す。

\*5：本設備は既存の設備である。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧炉心スプレイ補機冷却系熱交換器から高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備機関付空気冷却器まで」と記載

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧炉心スプレイ補機冷却系熱交換器から高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備機関付空気冷却器まで」の分岐点から高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備潤滑油冷却器まで」と記載

\*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備機関付空気冷却器から高圧炉心スプレイ補機冷却水ポンプまで」と記載

- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 1 次水冷却器から「高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備機関付空気冷却器から高圧炉心スプレイ補機冷却水ポンプまで」の合流点まで」と記載
- \*10 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧炉心スプレイ補機冷却系熱交換器から原子炉補機海水系との取合点まで」と記載

以下の設備は、既存の原子炉補機冷却設備のうち原子炉補機海水系であり、高圧炉心スプレイ補機冷却系として本工事計画で兼用する。

常設

高圧炉心スプレイ補機冷却系熱交換器出口ライン合流部～放水槽

高圧炉心スプレイ補機冷却系熱交換器出口ライン合流部